

新

令和元年度 愛知教育大学附属岡崎中学校

読書だより

最近、カードを読み、
胸が熱く燃えています。

モリモリ書店

第16話 R01.06.10(月)

「成長には必ず痛みが
ともなうのは何故。」

★今回、紹介する本は、『^{ともだちみすい}友達未遂』(著/宮西真冬、出版/講談社)です。

なんともタイトルが魅力的で、一見、流行の「イヤミス」みたいに、人間のドロドロした部分を描きそうに思わせておいて、中身は、実はしっかりとした青春小説。ただ、ミステリ要素も詰まっています。

舞台は、全寮制の女子校。そこで、同室となった4人の女子高生の物語。一見何も悩みがなさそうな4人は、それぞれに抱える問題をもっていて、4人が出会うことで、次々と事件が起き始める…。

1章ずつに、語り手が変わっていくので、いろいろと思い込んでいたことがひっくり返されながら、物語は意外な方向へと進んでいきます。青春時代特有の痛みや苦みをまっすぐ描きながら、それでも、成長していく4人の主人公たちの姿が読みどころです。読後、「未遂」の意味に気づいたときの味わいがすてきです。



宮西真冬
いっしょな意味でたまさかいます。イラストもすてきです。

★ 自分の幸せは、自分で

痛みと苦みと、
成長と。

つかむものです。誰かがいないと、

成り立たないものではないんです。

(p.282)

一人一人の
感情移入
しながら
読んで
します。

4人はある
事件の共犯
者になって
いく。
一人一人の
思いが
からみ
合う。

とせがたち

みすい

